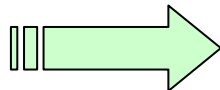


中途解約に伴う清算金の具体的計算例(外貨大口定期預金)

【預入条件例】

- ・預入金額: US\$100,000.00
- ・期間 : 3ヶ月(92日)
- ・調達利率: 4.30%



【中途解約時明細】

- 預入1ヵ月後に中途解約された場合
- ・再調達金額: US\$100,000.00
- ・残存期間 : 2ヶ月(62日)
- ・再調達利率: 5.30%

$$\begin{aligned} \text{清算金額} &= \text{預入金額} \times (\text{再調達利率} - \text{調達利率}) \times \text{残存日数} (\text{解約日から満期日前日までの日数}) \div 365 \\ &= \text{US\$}100,000.00 \times (5.30\% - 4.30\%) \times 62 \text{日} \div 365 \\ &= \text{US\$}169.86 \end{aligned}$$

(注)上記例はあくまで一例であり、同一預入金額であっても、当初の条件や中途解約時の市場実勢により、実際の清算金額は上記例を上回ることがあります。

一般的に、預入時からの経過期間が短いほど、清算金額が大きくなります。

- (1)再調達利率とは、解約日から満期日まで、インターバンク市場等でこの預金と同様の条件で再調達するとした場合に適用されるであろうと予測される利率です。清算金は、再調達利率が調達利率よりも高い場合に発生します。なお、計算した金額が0を下回るときは0とします。

